

事務事業名		森林環境学習支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3	環境にやさしいまちづくり				組織	担当係	環境政策係	担当課長名	川俣 浩
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3	自然保護活動の充実と環境学習の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7742	一般	4	1	5	森林環境学習支援事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H20年度～H29年度			根拠法令 条例等	とちぎの元気な森づくり県民 税条例				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		一部委託		
事業区分						事業分類		講座・教室・イベント等開催事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)						
とちぎの元気な森づくり県民税事業に位置付けられた「森を育む人づくり事業」で、子どもたちの森林環境学習などを支援するものである。本市では、木や森にふれあい親しむ活動や森づくり体験学習の開催、森林環境学習フィールドの整備(間伐、下草刈り、観察歩道、ベンチ等の設置)等を行う。						森林環境学習活動の実施 ・森林整備体験学習講座(森林環境学習フィールドの整備:2回実施) ・森林環境学習講座(どまんなかフェスタ:1回実施) ・木工工作教室:2回実施						
活動指標						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
森林環境学習活動の実施						回	13	10	10	5	9	
森林環境学習に参加した人数						人	658	563	817	593	550	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
市民						対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
人口						人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,018	
目的												
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
子どもたちが、自然観察会や森づくり体験活動をとらして、森林の大切さについて理解する。						成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
森林環境学習に参加した人数						人	658	563	817	593	550	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)												
自然環境を大切にしている心が育成されている。						上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
自然保護活動ボランティア数						人	2,637	2,647	2,502	2,521	2,700	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円	408	407	449	422	600					
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	408	407	449	422	600					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			8-1 報償金	265	8-1 報償金	300	8-1 報償金	240	8-1 報償金	230	8-1 報償金	300
			11-1 消耗品費	39	11-1 消耗品費	0	11-1 消耗品費	22	11-1 消耗品費	1	11-1 消耗品費	100
			12-15 傷害保険料	4	12-15 傷害保険料	7	12-15 傷害保険料	8	12-15 傷害保険料	11	12-15 傷害保険料	20
			13-1 業務委託料	100	13-1 業務委託料	100	13-1 業務委託料	180	13-1 業務委託料	180	13-1 業務委託料	180
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2				
		のべ業務時間	時間	80	80	80	80	80				
	人件費計(B)	千円	311	315	312	307	307					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	719	722	761	729	907					

事務事業名	森林環境学習支援事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年度に「とちぎの元気な森づくり県民税」が導入されたことから、市民一人ひとりが荒廃した森の現状や森の大切さを理解し、新たな森づくり活動に取り組むため、本市は平成21年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	水源の涵養、土砂流出の防止、Co2吸収源など、森林の有する多面的な機能が評価されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	学習活動のアンケート結果では、体験学習の内容について、ほとんどの児童・生徒が「大変良かった」、「良かった」と回答している。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	学習内容を変更し、木製マグネットづくりなどを行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 子どもを対象とした森林環境学習活動を実施することは、自然保護活動の充実と環境学習の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 とちぎの元気な森づくり県民税事業の中の「森を育む人づくり事業」において、市町が実施主体となり、子どもたちの森林環境学習などを実施するものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 子どもたちを対象とした自然観察会や森づくり体験活動などを行う事業であるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 環境学習内容を工夫することにより、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 類似事務事業名 みんなの元気な森づくり支援事業 「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した事業であり、統合は可能である。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 必要最小限の事業費と人件費で実施している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 森林の大切さを啓発する事業であり、受益者を特定できない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
		県の事業が終了すれば、終了することができる。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業統合・連携	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>②</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①		維持		②	×	低下		×	×	
			コスト																							
			削減	維持	増加																					
成果	向上		①																							
	維持		②	×																						
	低下		×	×																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																										
①環境学習内容を工夫する。 ②みんなの元気な森づくり支援事業と事業統合できる。																										